

# 新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 橋本正己  
 新潟県山岳協会  
 上越市南城町2-3-37  
 TEL 025-524-7215

事務局 稲田春男  
 柿崎町百木1023  
 TEL 0255-36-3958

編集 新山協ニュース編集  
 委員会代表 諏訪恵一  
 TEL 0258-35-4373

## 第三十六回自然保護 研修会に参加して

矢筈山岳会 松尾弘



加え、今研修会は近年にない四十五名の出席を頂いた、自然保護委員会としては今後山の裸地化の問題、荒廃する林道の問題に目を向けて取り組んでいきたい」と今後の方針について話がありました。

続いて、橋本正己協会長が挨拶に立ち「近年自然保護の問題については大々的に取り上げられており、新潟県山岳協会の中でも自然保護委員会は大きな柱であり、今後力を入れてやって頂きたい。県内には、日本山岳協会と環境省の自然保護委員が百数十名登録されている。研修会には少なくとも半数は出席して頂きたい。二日間実りある研修会となるように。」と結ばれました。

引き続き講演に移り、県立「浅草山麓エコミュージアム」

のネイチャーガイドであり、北魚沼を代表するフォレスト（森林監督署管理官）の大島一男氏が「入広瀬の山と自然」と題して講演された。

年間百三十日もの間、雪に埋もれる入広瀬の山々と川について、「特に黒又川第一ダムに関しては、隣の守門村へ導水路で水を持っていくため、破間川の水が枯渇し魚の住めない川となった、先人がもつと自然保護に力を入れてくれればと残念でならない」と語られました。

また、そこに共存する人間の暮らしについて、興味深い熊狩りの話があり、「山の神は女性で大変醜いため、きれいな女性が行くと焼き餅を焼き、獲物をお授けしてくれないので、熊狩りの参加はもちろんのこと、熊祭りの会場にも女性が入れないこと、オコジョをマタギの守り神として祀っていること、そして不思議な山言葉「霧がかかることをナゴと言う」等々について語られました。

動物たちについては近年増えすぎたカモシカがゼンマイを食い荒らす被害が深刻となっていること等についての入広瀬の現状について言及され、地元入広瀬の自然に対して、大島氏の愛情溢れるまなざしを通したお話に、参加者一同

感銘を受けると同時に、益々自然保護の役割の重要性と、責任の重さを痛感しました。その後、矢筈山岳会より次のような問題提起がありました。

「四月上旬、村松町の川内山塊の水無平において、新潟市からカタクリ群生地を觀賞しに来た男性が、カタクリの花を買い物袋四つほど奪り取っている男を発見し、この男に對し注意したところ逆に居直された」もしこの現場に居合わせたのが自然保護委員だったとしたら、どう対処し、またどのような権限を持って指導できるかと言うもの。

さまざまな意見が出たが、藤井前協会長の「自然保護委員の腕章並びに身分証明書を提示することにより、相手の住所、氏名を聞き、警察に告発する権限がある」とのお答えに意を強くして、閉会しました。内容の濃い研修会の第一部を終了し、その後お待ち兼ねの懇親会となり、お酒の最後の一滴がなくなるまで宴は続きました。

翌朝、宿泊会場を午前七時に出発、途中湿地帯で花開いたばかりの水芭蕉にしばし見とれる。午前十一時に山頂を踏む。約一時間の食事休憩の後山頂を出発。午後三時登山口に到着。今回は近年にない有意義な研修会でした。

# 久々のアンニョンハセヨ

越後山岳会 山田 智子

五月三十日、荒川ワンダーフォーゲル初代会長である佐藤貞一郎氏の長男の結婚披露宴に新潟県山岳協会と姉妹山岳会締結の韓国晶元山岳会から会長の金氏と副会長の季氏が招待され来日、来新されました。



石転び沢での記念撮影 金氏(左端)、季氏(右端)

五月三十日、荒川ワンダーフォーゲル初代会長である佐藤貞一郎氏の長男の結婚披露宴に新潟県山岳協会と姉妹山岳会締結の韓国晶元山岳会から会長の金氏と副会長の季氏が招待され来日、来新されました。

となりました。披露宴の席ではご出席の皆様からの歓迎に戸惑いを見せながらも、笑顔で一人ひとりからのお酌に立たれて盃を受けておられました。

石転び沢出合への一日は新緑と残雪に大喜びされておられました。両方の会旗を囲んだ記念写真の一枚は、披露宴とともに来日の思い出になったことと思います。

夜の懇親会や山を歩きながら、同じ六月二十九日に五十嵐篤雄氏、七月二日に金九鉉氏が逝かれたことなど、お二人の思い出もたくさん話をすることが出来ました。

佐藤氏の計らいで、私も金氏、季氏とお逢いでき、暫く遠ざかっていた晶元山岳会との親睦登山を復活させたくなりました。坂町駅で「今度はソウルでお逢いしましょう」と見送ってくれたお二人に本当にソウルでお会いしたいものです。

このたびお世話になりました佐藤氏をはじめ荒川ワンダーフォーゲルの皆様を心から感謝し、「カムサハムニダ」と申し上げます。

当協会は登山を通じ、県民体育の向上と加盟団体相互の親睦融和を図ることを目的としております。各委員会では個々の事業を実施するに当たって、加盟団体の分担金と受益者負担によって賄っておりますが、現状では大半の事業で、十分な財源を持って実施されているという状況ではなく、場合によっては、ご苦勞されている担当各位のボランティアによって活動しているというのが実情であります。

三日に帰国という四泊五日の日程でした。佐藤氏のお心遣いで私も披露宴にご招待戴き、来賓でご出席の平田大六県山協

このためとは申し上げられませんが、当協会の目的と事業に賛同する各位を個人、団体を問わず、賛助会員とすることができるようになっております。

第1条 新潟県山岳協会規約(以下「規約」という)第4条第4項に規定する賛助会員については本内規によるものとする。

田大六県山協参与(関川村長)、韓国の両氏と同じテールで何年ぶりの「アンニョンハセヨ」

新年度に入り、より協会の活動を容易にするため、賛助会員を募集することといたしましたので、各位のご理解と趣旨へのご賛同を賜り、多数のご入会をお願い申し上げます。

第2条 賛助会員は、本協会の目的、事業に賛同する団体及び個人で理事会の承認を得たものとする。

このたびお世話になりました佐藤氏をはじめ荒川ワンダーフォーゲルの皆様を心から感謝し、「カムサハムニダ」と申し上げます。

第3条 本協会は、賛助会員について次の通り処遇する。

第4条 賛助会員は、規約第19条2項の規定に基づき会費を納入するものとする。この内規は平成14年1月19日から施行する。

このたびお世話になりました佐藤氏をはじめ荒川ワンダーフォーゲルの皆様を心から感謝し、「カムサハムニダ」と申し上げます。

第5条 賛助会費の年額 一万円

◆申込み・問合せ 総務委員長 七沢恭四郎 〒943-0154 上越市稲田4-12-31 TEL/FAX 025-523-7661

## 賛助会員募集について

新潟県山岳協会長 橋本正巳

### 「新潟県山岳協会賛助会員に関する内規」

第1条 新潟県山岳協会規約(以下「規約」という)第4条第4項に規定する賛助会員については本内規によるものとする。

第2条 賛助会員は、本協会の目的、事業に賛同する団体及び個人で理事会の承認を得たものとする。

第3条 本協会は、賛助会員について次の通り処遇する。

(1) 本協会機関紙「新山協ニュース」及び「賛助会員名簿」を発行のつどそれぞれ送付する。

(2) 入会した時に「新山協ニュース」紙上に氏名等を発表し、広く普及を図る。

第4条 賛助会員は、規約第19条2項の規定に基づき会費を納入するものとする。この内規は平成14年1月19日から施行する。

◆賛助会費の年額 一万円

◆申込み・問合せ 総務委員長 七沢恭四郎 〒943-0154 上越市稲田4-12-31 TEL/FAX 025-523-7661

# 国体県予選会開催される

第58回国民体育大会山岳競技会新潟県予選会が、6月7日から8日にかけて、安塚町を会場に開催された。

開会式の後の縦走競技は、キューピットパレーススキー場内の標高差520m、距離5.5kmのコースを力いっぱい走り抜けた。

2日目のクライミング競技は、B&G体育館脇の特設ウォールで競技が行われ、厳しい壁面に果敢に挑戦する姿が印象的であった。

## 大会成績

### ●縦走競技

成年男子一位 佐藤昭則

### ●クライミング競技

成年男子一位 木村達史

北信越国体の出場選手団が決

成年女子一位	若井栄一	二位	藤ノ木雅也
二位	山内京子	三位	川崎明子
三位	梶 昌美	四位	神保和恵
少年男子一位	中山遙子	二位	少年男子
二位	樋口大棋	三位	脇田大翼
三位	若井一樹	四位	脇田大翼
少年女子一位	丸山彩子	二位	脇田大翼
二位	水野美咲	三位	霜越 歩
三位	小林美久	四位	霜越 歩

成年男子一位	木村達史	二位	丸山由貴
二位	須藤晴紀	三位	小林美久
三位	鈴木好昌	四位	水野美咲
島田明子			



北信越国体にも使用する B & G体育館脇の特設ウォール



山頂南面に発達する溶岩台地の池塘群

## 山と岩石

さわがに山岳会 小野 健

### ② 池塘と柱状節理の苗場山系

谷川連峰の西部に位置し、三県境に股がる苗場山系は、清津峡の源頭から苗場火山に至る山並みを形成しています。

佐武流山から清津峡にかけては、中新世の堆積岩に貫入した、鮮新世の閃緑玢岩に発達する柱状節理が有名です。

苗場山は、県内からは3つの登山コースがありますが、溶岩台地の山容と独特な地形から、登山者には人気の高い山となっています。山名は、山頂に発達する池塘群に生えているミヤマホタルイが、苗に見えることからこの名称があるようです。

苗場火山は、約40万年以降の中期更新性から、4期に亘って噴火形成されたといわれています。山頂付近に火口はなく、侵食カルデラと推定されています。基盤は、東部が中新世の清津層と石英閃緑玢岩、西部はグリーンタフ層と烏甲火山噴出物で、北部が鮮新世の西田尻層となるのです。このように、苗場山は、県内火山を代表する名峰の一つです。

### ●成年男子

監督 古澤勝美  
選手 木村達史 (C)  
選手 佐藤昭則 (T、C)  
選手 今井浩二 (T、C)

### ●成年女子

監督 稲田春男  
選手 山内京子 (T)  
選手 片桐麻由子 (C)  
選手 山川昌恵 (T、C)

### ●少年男子

監督 水落竜馬  
選手 脇田大翼 (C)  
選手 樋口大棋 (T、C)  
選手 若井一樹 (T)

### ●少年女子

監督 堀越康裕  
選手 小林美久 (T、C)  
選手 丸山由貴 (C)  
選手 丸山彩子 (T)

(国体委員長 森 庄一)

# お知らせ

## 第6回新潟カップ 開催について (募集要項)

新潟県内のクライミングの普及とレベルアップを目的として、下記のとおり第6回新潟カップを開催します。

ロープ等の豪華賞品もご用意しておりますので、多数のご参加よろしくお願ひします。

### ◆期日

8月30日(土)、31日(日)

### ◆受付

8:30~8:50

(両日ともに)

### ◆競技日程

30日 9:30~団体戦

(予選、決勝)

31日 9:30~オープン戦

(予選、準決勝、決勝)

### ◆会場

関川村  
せきかわふれあいドーム

### ◆種別

・団体戦(3名1チーム)

(年齢制限なし、男女混合でよい)

・オープン戦 女子の部(年齢制限なし)

・オープン戦 男子の部(年齢制限なし)

### ◆競技方法

◆参加費  
・団体戦 6000円

・オープン戦 2000円

◆参加資格  
・リードクライミングのできる人

・新潟県内に在住・通勤・通学している人

・団体戦は、オンサイト5・10d以下を対象とする

・団体戦・オープン戦の両方参加してもよい

◆申し込み、問い合わせ  
・クライミング委員長

内山 豊

〒950-0814

新潟市逢谷内2-5-26

携帯 090-1049-7101

FAX/TEL 025-271-3637

◆申込締切  
平成15年8月23日必着

クライミング委員および他

委員に、準備や当日のスタッフをお願いしたいと考えています。ご協力おねがひします。

◆開催地  
9月26日(金)~28日(日)

越前町岬平「水仙社」及び丹生産地

◆講義内容  
・講義「中高年の健康・体力と登山」ほか

・実習実技「歩行技術」、「危険時対策」ほか

・研究協議「中高年登山に関する諸問題について」

◆申込み・問合せ  
中高年登山委員長

山田 弘二

〒950-0983

新潟市神道寺2-3-3

TEL 025-244-0819

来月号より多くの方に「新山協ニュース」を直接読んでいただくために、希望する方に直送サービスを開始します。ご希望の方は、郵便番号、住所、氏名、電話番号、所属団体名を明記の上、50円切手24枚(1年分)を添えて会報編集委員会までお申込みください。なお、お送りする「新山協ニュース」はコピー版になります。

会報編集委員会

〒940-0825

長岡市高畑町

610-10

諏訪 恵 一方

◆開催地  
越前町岬平「水仙社」及び丹生産地

◆講義内容  
・講義「中高年の健康・体力と登山」ほか

・実習実技「歩行技術」、「危険時対策」ほか

・研究協議「中高年登山に関する諸問題について」

◆申込み・問合せ  
中高年登山委員長

山田 弘二

〒950-0983

新潟市神道寺2-3-3

TEL 025-244-0819

## 越後駒ヶ岳 登山口交通規制

「第2回枝折峠ヒルクライムinゆのたに」による越後駒ヶ岳登山口付近の交通規制について湯之谷村役場から案内がありました。

◆日時  
8月10日(日)

午前8時から午後1時まで

◆規制区間  
湯之谷村大湯温泉「大湯橋」から枝折峠經由銀山平「石抱橋」まで

◆問合せ先  
湯之谷村役場 観光課

担当 桜井さん

TEL 02579-2-3500

「ゆきみ山の会」さんから会報をお送りいただきました。B5判24ページ、毎月発行とのこと。本紙も負けずに充実を図りたいところ。

各加盟団体からの会報も機会があれば紹介し、切磋琢磨、活性化に活用したいもの。

加盟団体各位からの情報もお待ちしております。(恵)

## 編集こうき

「ゆきみ山の会」さんから会報をお送りいただきました。B5判24ページ、毎月発行とのこと。本紙も負けずに充実を図りたいところ。

各加盟団体からの会報も機会があれば紹介し、切磋琢磨、活性化に活用したいもの。

加盟団体各位からの情報もお待ちしております。(恵)

◆開催地  
越前町岬平「水仙社」及び丹生産地

◆講義内容  
・講義「中高年の健康・体力と登山」ほか

・実習実技「歩行技術」、「危険時対策」ほか

・研究協議「中高年登山に関する諸問題について」

◆申込み・問合せ  
中高年登山委員長

山田 弘二

〒950-0983

新潟市神道寺2-3-3

TEL 025-244-0819

## 登山・アウトドアの専門店



新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025)243-6330(代)

## 登山・ハイキング・クライミング テレマーク&山スキー



パーマーク  
長岡市西窓内2-97(長岡市役所裏通り)  
TEL 0258(37)1200-FAX 0258(33)1164  
●営業時間/AM10:30-PM8:00水曜定休

http://www.parrmark.co.jp